

2018年3月期-2020年3月期 中期経営計画

2017年3月29日
株式会社島津製作所
代表取締役社長 上田 輝久

目次

| | |
|------------------------------|-----------|
| I. 現計画の振り返り | p.1-p.4 |
| II. 新中期経営計画の概要 | p.5-p.8 |
| III. 事業強化 | p.9-p.10 |
| IV. 投資計画 | p.11 |
| V. 経営目標 | p.12 |
| VI. セグメント戦略 | p.13-p.19 |
| VII. 地域戦略 | p.20-p.24 |
| VIII. 資本政策 | p.25 |
| IX. ESGの取り組み | p.26 |
| X. 企業価値向上への取り組み | p.27 |

I. 現計画の振り返り 1/4

－外部環境・島津の対応・業績見込み－

【2015年3月期-2017年3月期 中期経営計画目標】

基本方針：「世界の顧客の成長に資するイノベティブカンパニー」を目指して

【2017年3月期 目標】

売上高 : 3,500億円

営業利益率 : 10%, 海外売上高比率 : 50%以上

※想定為替レート : \$ 1 = ¥ 95, € 1 = ¥ 130

【2017年3月期 見込】

売上高 : 3,500億円

営業利益率 : 10.3%, 海外売上高比率 : 49%

※想定為替レート : \$ 1 = ¥ 105, € 1 = ¥ 117

【外部環境の変化】 為替環境の変化（円高の是正）

日本経済の回復、米国経済の安定成長、アジア経済の回復

中国の成長鈍化と資源国経済の低迷

【島津の取組み】

国内、海外(特に中国・北米・アジア・欧州)での業績拡大

外部機関との共同開発の推進（イノベーションセンターの設立など）

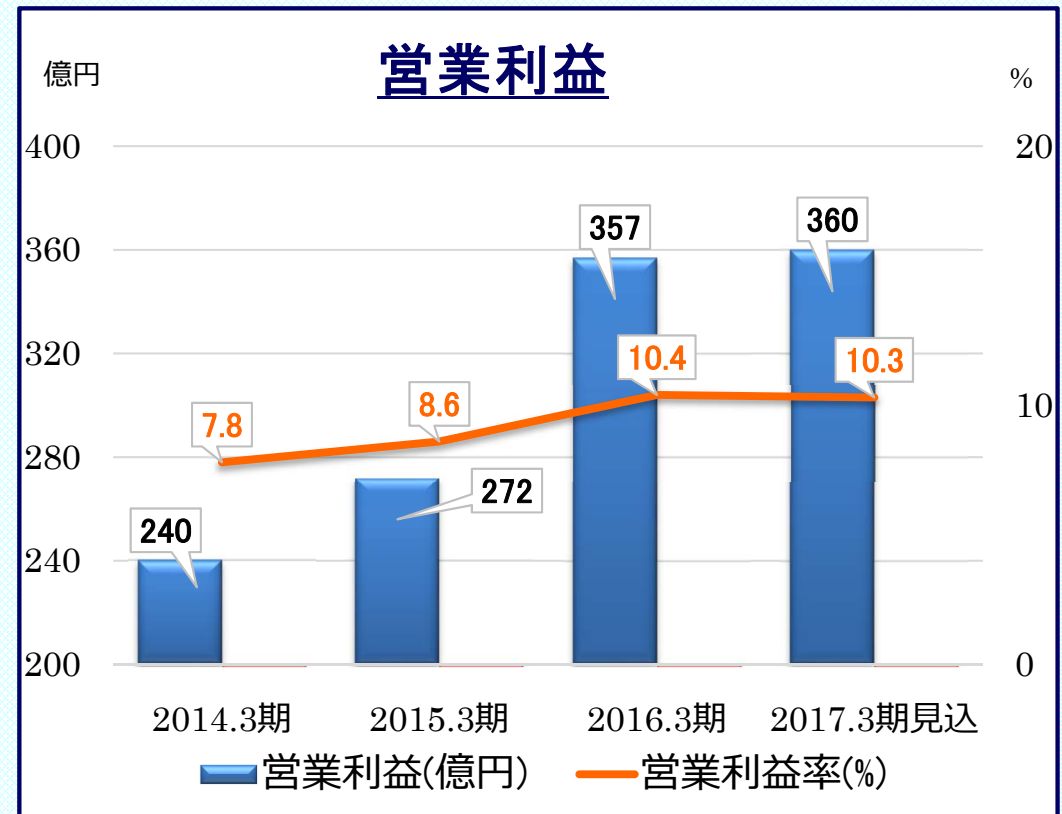
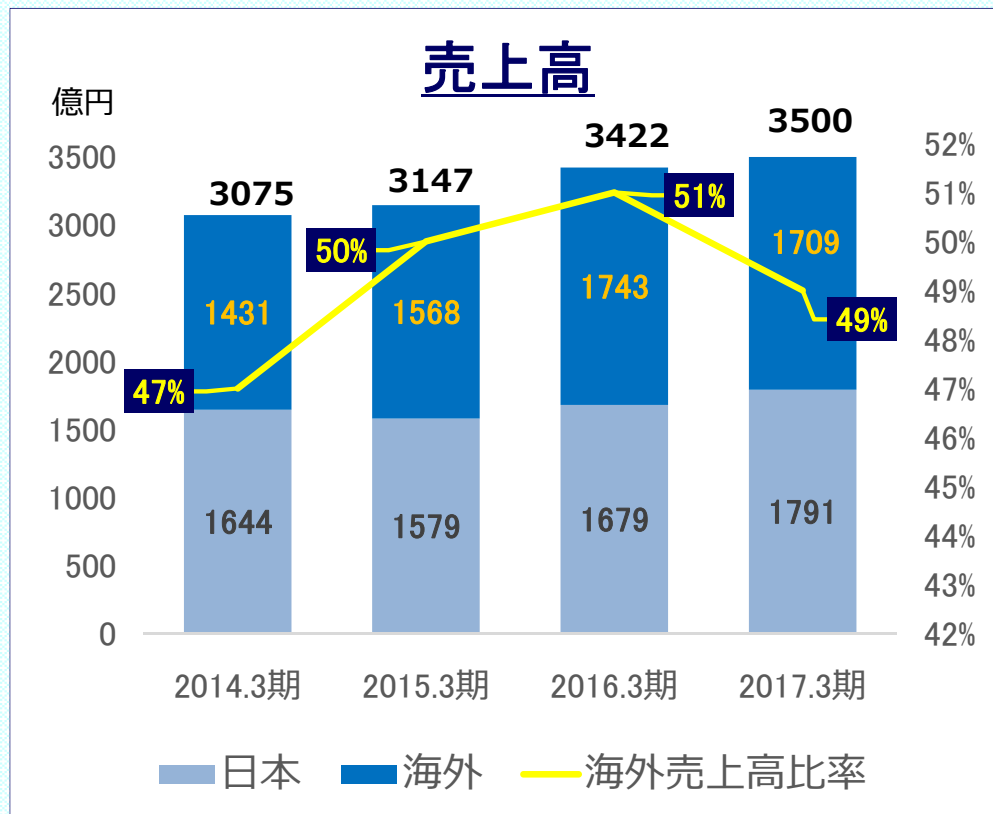
製品ラインナップの拡充と好調分野への注力（製薬・食品安全など）

海外製造拠点の強化（マレーシア工場の設立など）

I. 現計画の振り返り 2/4

－売上高・営業利益推移－

- 2017年3月期の売上高は、計画達成を見込む
- 営業利益・営業利益率は1年前倒して計画達成、2017年3月期も計画達成の見通し
- 2017年3月期の海外売上高比率は、計画に対して若干下回る見通し



I. 現計画の振り返り 3/4

－セグメント別売上高見込み－

2017年3月期の各事業セグメントの売上高は、以下のとおりを予想

- 計測機器：2014年3月期比で約20%増加、中期計画も達成する見通し
- 医用機器：2014年3月期比で約3%増加、また中期計画達成率は98%になる見通し
- 航空機器：2014年3月期比ほぼ横ばい、中期計画を達成する見通し(利益は黒字転換)
- 産業機器：2014年3月期比で約20%増加、中期計画達成率は96%にとどまる見通し

| 単位：億円 | 2017.3期 見込 | 2014.3期 | 現中期経営計画 | 対2014.3期増減額・率 | | 対計画 | |
|-------|------------|---------|---------|---------------|-------|------|--------|
| | | | | 額 | 率 | 額 | 達成率 |
| 計測機器 | 2,170 | 1,822 | 2,150 | 348 | 19.1% | 20 | 100.9% |
| 医用機器 | 645 | 628 | 660 | 17 | 2.8% | (15) | 97.7% |
| 航空機器 | 265 | 266 | 245 | (1) | -0.3% | 20 | 108.2% |
| 産業機器 | 354 | 295 | 370 | 59 | 20.0% | (16) | 95.7% |
| その他 | 66 | 65 | 75 | 1 | 2.1% | (9) | 88.0% |
| 合計 | 3,500 | 3,075 | 3,500 | 425 | 13.8% | 0 | 100.0% |

I. 現計画の振り返り 4/4

－地域別売上高見込み－

- 2017年3月期の売上高は、2014年3月期比で、日本は約150億円増加、また海外は約280億円増加の見通し
- 特に、北米(+22%)・中国(+19%)・その他アジア(+54%)が大きく増加。北米とその他アジアは中期計画目標も達成の見通し
- 日本も堅調に推移、2014年3月期比で9%増加、中期計画目標も達成の見通し
- 一方、政治・経済が不安定な中近東・南米などは伸び悩んだ

| 単位：億円 | 2017.3期 見込 | 2014.3期 | 現中期経営計画 | 対2014.3期増減額・率 | | 対計画差 | |
|---------|------------|---------|---------|---------------|-------|------|--------|
| | | | | 額 | 率 | 額 | 達成率 |
| 日本 | 1,791 | 1,644 | 1,660 | 147 | 8.9% | 131 | 107.9% |
| 米州 | 419 | 371 | 440 | 48 | 12.9% | (21) | 95.3% |
| 内北米 | 373 | 307 | 360 | 66 | 21.6% | 13 | 103.6% |
| 欧州 | 259 | 238 | 300 | 21 | 8.9% | (41) | 86.5% |
| 中国 | 582 | 489 | 670 | 93 | 19.1% | (88) | 86.9% |
| その他のアジア | 342 | 221 | 310 | 120 | 54.4% | 32 | 110.3% |
| その他 | 107 | 112 | 120 | (5) | -4.5% | (14) | 88.8% |
| 合計 | 3,500 | 3,075 | 3,500 | 425 | 13.8% | 0 | 100.0% |

Ⅱ. 新中期経営計画の概要 1/4

－基本コンセプト/ 事業領域－

- 当社は社是『科学技術で社会に貢献する』のもと、経営理念『「人と地球の健康」への願いを実現する』に向け、「人の健康」「安心・安全な社会」「産業の発展」の領域でグローバルに事業を展開してきた
- 新中期経営計画では、『世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業』を目指し、上記事業領域において、更なる事業拡大と企業価値向上に挑戦する

事業領域

① 人の健康

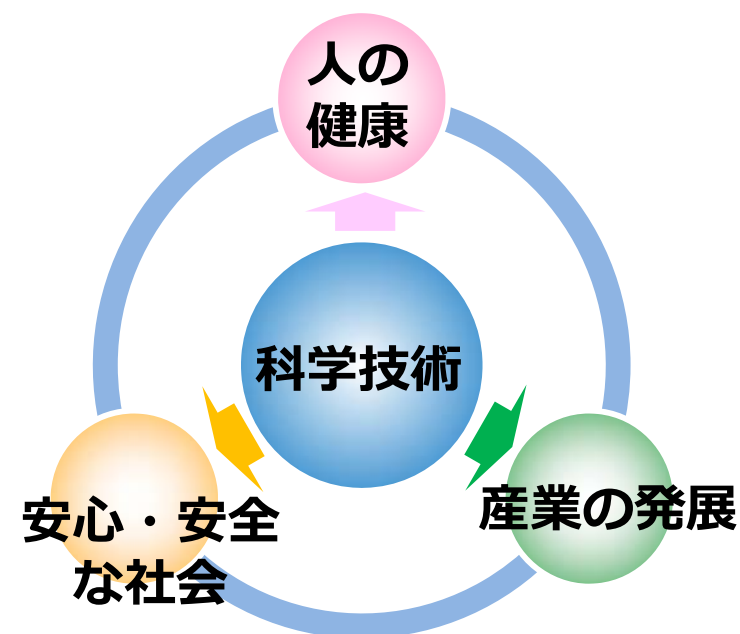
- 生命現象を解明するライフサイエンスへの貢献
- 医療システムを支える医薬品や診断・治療機器の提供
- 人の健康を増進する高機能食品などの開発支援

② 安心・安全な社会

- 地球環境を保全するための環境計測技術の提供
- 安全な社会インフラ整備への貢献
- 食品安全や輸送機の信頼性などにおける産業への貢献

③ 産業の発展

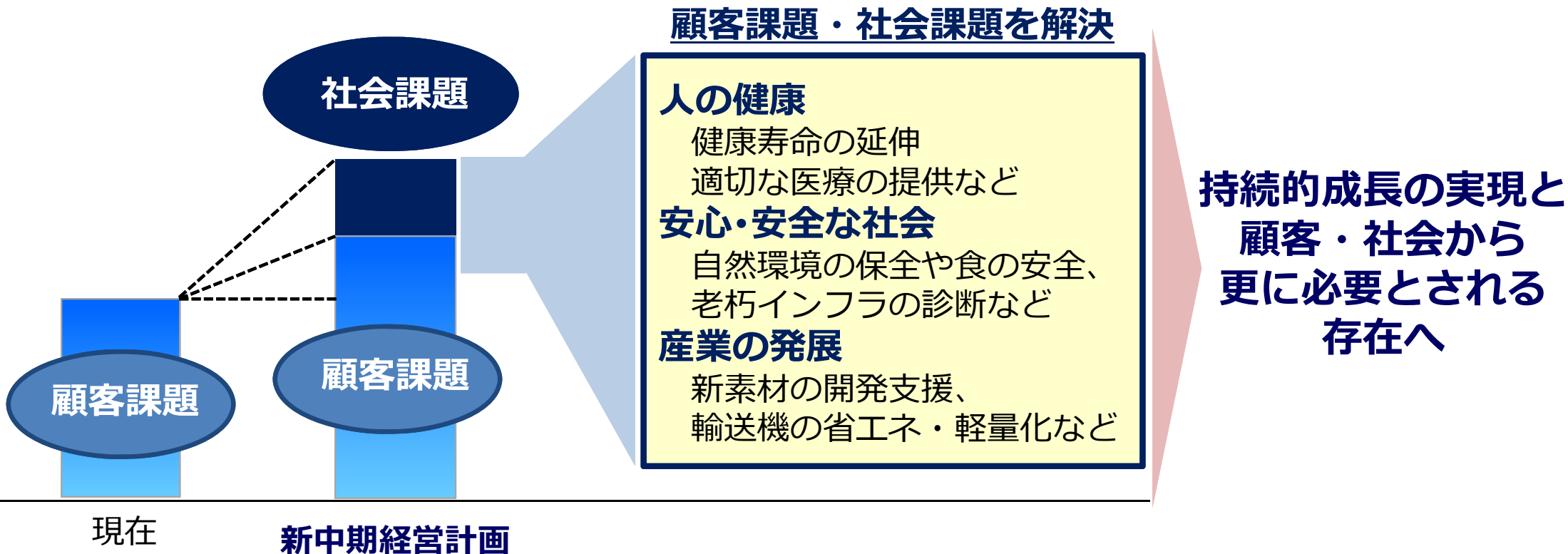
- 幅広い『高度モノづくり産業の発展』に寄与する装置および基幹部品の提供



II. 新中期経営計画の概要 2/4

－基本コンセプト/ 事業活動を通じた社会貢献による企業価値の向上－

- 社会課題が複雑化し、産業・行政・学術の垣根を越えた幅広い連携による課題解決が求められている
- 科学技術力で高品質な製品を提供し、顧客と共に課題を解決する事業を展開してきた。この姿勢を更に発展させ、顧客課題に加えて、社会課題の解決を目指す



Ⅱ. 新中期経営計画の概要 3/4

－基本コンセプト/ 重点成長分野－

- ヘルスケア・インフラ・マテリアル・環境／エネルギーの4つを重点成長分野とする
- この4分野で、各国政府の施策に沿いつつ、研究機関・大学・企業との連携を強化し、社会課題を高い技術レベルで解決することにより、事業拡大と企業価値の向上を図る

| 重点成長分野 | 主要テーマ |
|----------|---------------------------|
| ヘルスケア | 医療、ライフサイエンス、医薬、食の安全/機能性食品 |
| インフラ | 各種インフラ検査、研究開発/製造設備 |
| マテリアル | 新材料、機能性材料、複合材料 |
| 環境／エネルギー | 環境計測/規制対応、再生可能/水素エネルギー |

※ 特にヘルスケアについては、最重点分野として計測と医用の連携を深めて、特色ある新製品開発を強化する。

Ⅱ. 新中期経営計画の概要 4/4

－基本コンセプト/ 3つの基本方針－

| | |
|-----------------|---|
| <p>① 成長分野投資</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 4つの重点成長分野での新製品開発や新事業開発への投資を優先 ■ 特に、ヘルスケア事業領域をアドバンスト・ヘルスケアと位置付け、『分析－医用融合』による新事業を創出。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ヘルスケア事業戦略ユニットによる新規領域の開拓 ➢ 試薬・消耗品事業のグローバルな拡大 ➢ イノベーションセンターを活用したオープンイノベーションの促進 |
| <p>② 収益力強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 重点業種の競争力強化と不採算業種の再建・見直しによる収益基盤の強化 ■ IoTやAIを活用したサービス事業強化と、試薬・消耗品ラインナップ拡充によるアフターマーケット事業の拡大 ■ 共同研究開発促進による、他社と差別化できる製品・アプリケーション開発 |
| <p>③ 組織基盤変革</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革：多様な働き方ニーズに対応するための制度改革 IT化等の業務改革（働き方改革PJ：2017年3月開始） ■ 健康経営：健康に働く環境をサポートする島津ヘルスケアクラブの創設 ■ ダイバーシティ経営：多様な人財（女性・シニア・グローバル人財）の活躍推進 ■ 環境経営：エコラベル適合製品の拡充、生物多様性・低炭素化社会への貢献 |

Ⅲ. 事業強化 1/2

－アドバンスト・ヘルスケア－

■ 「アドバンスト・ヘルスケア」

- * 大学病院など専門医療機関との連携を深め、予防・診断・治療・創薬の幅広い分野で、革新的な製品・サービスを創出
- * 現状の2倍の200億円規模の事業への成長を目指す



■ 研究開発とビジネスモデルの構築

ヘルスケアR&Dセンター

- * 計測と医用の技術の融合を図ると同時に、最先端医療機関との共同研究を推進するオープンイノベーション研究施設
- * 2019年1月竣工予定(京都三条本社内)

ヘルスケア事業戦略ユニット

- * 計測と医用の技術の融合と新技術の創出を目指す
- またヘルスケア領域での独自性の高いビジネスモデルを構築
- * 2017年4月設立



ヘルスケアR&Dセンター
完成予想図

■ 医療の新たな領域への展開

- * 医師の利便性を大幅に向上：迅速検査・手術支援 等
- * 従来は発見できなかった変化の検知：バイオマーカー検査・乳がん検査 等
- * 創薬・治療の革新を支援：血中薬物濃度検査・創薬支援 等

Ⅲ. 事業強化 2/2

－アフターマーケット事業－

アフターマーケット事業を統括し、司令塔的役割を担う横串機能の立上げを検討、部門横断的な取り組みでアフターマーケット事業の拡大を推進

【計測機器】

アフターマーケット比率：2020年3月期目標 30%(2017年3月期見込 28%)

- * 試薬・消耗品事業を拡大(自社品拡充+M&Aによる外部事業の取込み)
- * AI・IoTによるビッグデータ解析など、高度なサービスの提供を推進

【医用機器】

アフターマーケット比率：2020年3月期目標 30%(2017年3月期見込 30%)

- * 故障予知機能などIoTを活用したきめ細かいサービスの提供を推進

【産業機器】

ターボ分子ポンプのアフターマーケット比率：

2020年3月期目標 22%(2017年3月期見込 16%)

- * 韓国・台湾等の半導体メーカーでのアフターサービス事業の拡大

IV. 投資計画

－設備投資 / 研究開発投資－

- 研究開発環境の整備とITインフラの強化、また研究開発力を強化するために3カ年で合計1200億円を超える規模の設備投資・研究開発投資を計画
- 幅広いソリューションの提供や海外販路の強化を図るM&Aを検討

【設備投資：700億円】

- *ヘルスケアR&Dセンター・基盤技術研究所新棟など、研究開発設備・環境の充実を図る投資を計画
- *ITインフラの整備、また海外事業基盤強化への投資を計画

【研究開発投資：530億円】

- *ヘルスケア分野を中心に積極的な研究開発投資を推進
- *研究開発費の対売上高比率は5%を目途とし、現状より水準を引き上げ、研究開発を加速



V. 経営目標

【2020年3月期業績目標】

売上高 4,000億円以上, 営業利益 450億円以上

営業利益率 11%以上, 海外売上高比率 50%以上, ROE 10%以上

単位：億円

| | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 | |
|-----------|------------|------------|---------|---------|-------|
| 売上高 | 4,000以上 | 3,500 | 500 | 14.3% | |
| 営業利益 | 450以上 | 360 | 90 | 25.0% | |
| 営業利益率 | 11%以上 | 10.3% | — | | |
| 海外売上高比率 | 50%以上 | 49% | — | | |
| ROE | 10%以上 | 10.5% | — | | |
| 期中平均為替レート | US\$ | ¥100.00 | ¥105.00 | (¥5.00) | -4.8% |
| | € | ¥110.00 | ¥117.00 | (¥7.00) | -6.0% |

VI. セグメント戦略 1/7

－事業戦略概観－

- **成長戦略** : AI・IoT・ロボット・3Dプリンタなどを活用、製品・サービスを高度化
技術・製品開発への投資は、短期、中長期の両方の視点で強化
ヘルスケア事業戦略ユニットを新設、『分析-医用融合』事業を加速
- **収益力強化** : 中長期的に計測は営業利益率20%以上、他事業は10%以上の実現を目指す
- **事業内容の最適化** : 各事業について収益力強化を最優先とし、事業・製品を見直す

成長

重点事業

【計測】

【計測】

- LC・MSへの重点投資と強化業種の収益力強化
- 消耗品拡大を含むアフターマーケット事業の拡大
- 製品ラインナップの拡充による事業拡大

『分析-医用融合』
ヘルスケア事業
戦略ユニット新設

【医用】

収益改革事業

【産業機器】

【医用】

- 治療機種を中心とした製品ラインナップ拡充と海外事業拡大
- 製品の利益率向上と収益力の高いサービス事業の拡大

【産業】

- TMP機種の強化とサービス事業拡大による収益改革
- 油圧機器の海外業績拡大と製造基盤の強化による収益改革

収益力

再構築事業

【航空】

【航空】

- 民航事業での成長による安定的な黒字体質の構築
- 防衛事業の内容見直しと再構築

Ⅵ. セグメント戦略 2/7

－売上高目標－

【2020年3月期事業セグメント別売上高目標】

| 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|-------|------------|------------|-----|-------|
| 計測機器 | 2,530 | 2,170 | 360 | 16.6% |
| 医用機器 | 710 | 645 | 65 | 10.1% |
| 航空機器 | 290 | 265 | 25 | 9.4% |
| 産業機器 | 400 | 354 | 46 | 13.0% |
| その他 | 70 | 66 | 4 | 6.1% |
| 合計 | 4,000 | 3,500 | 500 | 14.3% |

VI. セグメント戦略 3/7

－計測機器－ 重点機種への投資

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|----------------|--------------|------------|-----|-------|
| 計測機器 | 2,530 | 2,170 | 360 | 16.6% |
| 内質量分析計(MS) | 450 | 344 | 106 | 30.8% |
| 内液体クロマトグラフ(LC) | 720 | 570 | 150 | 26.3% |

【質量分析計(MS)】

- * 高分解能MSや迅速スクリーニング用MS等、製品ラインナップの拡充
- * AIやIoTを用いた高度なデータ処理・解析によるエキスパートシステムの開発
- * MSの応用分野の拡大による事業拡大（分子診断、細胞関連など）

【液体クロマトグラフ(LC)】

- * カラム・試薬、自動前処理装置、新規検出器などによる製品ラインナップの拡充
- * AIやIoTを用いたネットワークシステムの強化とサービス事業の拡大
- * LC技術を応用した細胞ハンドリング・細胞培養・細胞代謝物解析装置など
新規システム製品を開発、再生医療分野での新たな展開を推進

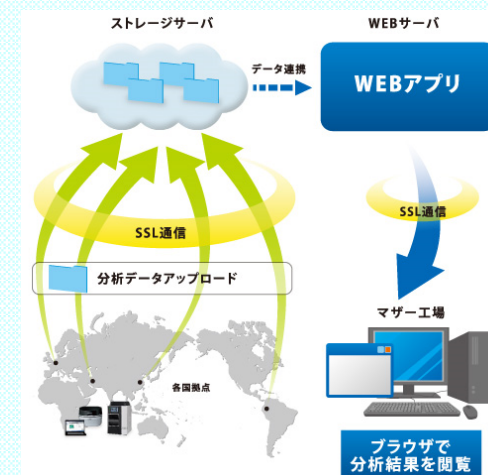
VI. セグメント戦略 4/7

－計測機器－ ネットワークシステムのラインナップ拡充

クラウド型システムの投入とグローバル展開強化

2020年3月期売上高目標：35億円(2017年3月期比 52%増)

- * 統合プラットフォームとしての“Lab Solutions”ネットワークシステムの強化
→AIやIoT技術を駆使したクラウド型新システムによる製品ラインナップの拡充
- * 各種ネットワークシステムを用いたサービス事業の拡大
→顧客装置のアセットマネジメントやグローバルなデータ管理などを支援
- * 製薬から、環境・化学・受託分析など、より幅広い分野に展開
- * 海外でのネットワーク販売力の強化



VI. セグメント戦略 5/7

－計測機器－ イノベーションセンターによる開発力強化

イノベーションセンターでの共同開発推進

米国・欧州・中国・アジアの各拠点で、先進的顧客との共同研究を推進、成果をグローバルに共有

- * それぞれの市場で必要とされる各種アプリケーションシステムの開発力強化
- * 大学に加えて、各国の企業や規制関連機関との協業
- * ヘルスケアに加えて、環境・エネルギー・材料分野へも展開
- * 事業シナジー（計測・医用など）の推進による新規システムの開発推進



VI. セグメント戦略 6/7

－ 医用機器 －

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|----------------|------------|------------|-----|-------|
| 医用機器 | 710 | 645 | 65 | 10.1% |
| 内血管撮影システム(CVS) | 105 | 67 | 38 | 56.7% |

【X線診断装置事業の強化・拡充】

- * 独自アプリケーションなどによる血管撮影システムの拡大
- * 24時間対応のカスタマーサポートを日本・中国でスタート

【新分野への展開】

<がん診断・治療支援への取組み強化>

- * 乳房専用PET装置 “マンモPET” の中国・アジアへの展開
- * 近赤外光カメラシステム “LIGHTVISION” の乳がん領域への展開強化、
海外市場への展開

<『分析—医用の融合』促進>

- * X線画像処理技術(医用)と質量分析技術(計測)の融合による新規システムの開発、
独自の高付加価値診断情報の提供



VI. セグメント戦略 7/7

－ 航空機器・産業機器 －

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|--------------|------------|------------|---------|-------|
| 航空機器 | 290 | 265 | 25 | 9.4% |
| 民間航空機器比率 | 25% | 17% | 8ポイント向上 | |
| 産業機器 | 400 | 354 | 46 | 13.0% |
| 内ターボ分子ポンプ | 160 | 136 | 24 | 17.6% |

【航空機器】

＊ 民間航空機器事業の規模拡大、また北米での製造を本格化、収益の安定化を推進

【産業機器】

＊ 磁気浮上型ターボ分子ポンプでの世界シェアNo. 1を目指す、
またサービス事業の拡大を推進

＊ 磁気浮上型ラインアップの拡充、及びボールベアリング型
への参入、供給分野を拡大



Ⅵ. 地域戦略 1/5

－地域戦略 概要－

日本：緩やかな成長が続く
強いポジションを維持・拡大

中国：科学技術への投資が増加
売上規模を更に拡大

その他アジア：世界経済の成長エンジン
成長を取り込む

北米：世界最大かつ最先端市場
島津ブランドを向上

欧州：最先端市場として重要
事業基盤の整備を推進

【2020年3月期地域別売上高目標】

| 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|---------|------------|------------|-----|-------|
| 日本 | 1,900 | 1,791 | 109 | 6.1% |
| 米州 | 550 | 419 | 131 | 31.2% |
| 内北米 | 480 | 373 | 107 | 28.7% |
| 欧州 | 300 | 259 | 41 | 15.6% |
| 中国 | 700 | 582 | 118 | 20.3% |
| その他のアジア | 440 | 342 | 98 | 28.7% |
| 内インド | 140 | 102 | 38 | 37.6% |
| その他 | 110 | 107 | 4 | 3.3% |
| 売上高合計 | 4,000 | 3,500 | 500 | 14.3% |

Ⅵ. 地域戦略 2/5 - 北米 -

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|--------------|------------|------------|-----|-------|
| 北米 | 480 | 373 | 107 | 28.7% |

「イノベーションの創出を通じた革新的なアプリケーション・製品開発、臨床・製薬等の重点分野での展開を強化することで、最先端市場の北米での業績拡大を図る」



【計測機器】

- * イノベーションセンターでの最先端顧客との協業加速、革新的製品を開発
- * 臨床・製薬・エネルギー分野に注力、また大学・官公需の取込みを強化

【医用機器】

- * 北米仕様の新製品の投入、販売・サービス力の強化と直販地域の拡大

Ⅵ. 地域戦略 3/5

－ 欧州 －

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|--------------|------------|------------|-----|-------|
| 欧州 | 300 | 259 | 41 | 15.6% |

「イノベーションの創出や臨床分野でのトータルソリューションの提供などを通じた、顧客ニーズ・利便性の追求を加速」



【計測機器】

- * イノベーションセンターでの研究開発の推進
- * 食品/食品安全・臨床・製薬・自動車など成長分野に重点をおいた事業展開を強化
- * 臨床分野では、試薬/消耗品・メソッド・装置・ソフトと総合的なソリューション展開を強化、顧客の診断等の事業を強力に支援

【医用機器】

- * ドイツでの直販体制を強化

【産業機器】

- * ターボ分子ポンプの販路・サービス体制の拡充

Ⅵ. 地域戦略 4/5

— 中国 —

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|--------------|------------|------------|-----|-------|
| 中国 | 700 | 582 | 118 | 20.3% |

「第13次五カ年計画下での健康の増進・環境の改善、また国の科学技術力向上政策など、新たな需要構造への対応力を強化」



【計測機器】

- * 拡大する臨床医学分野を中心に、サービス事業も含めた多層的な展開を推進
- * 新たな規制に対応する製品投入と需要の取込みを推進、超クリーン排ガス市場での展開本格化

【医用機器】

- * 現地製販体制の強化、循環器内科向け専門拡販体制の構築

【産業機器】

- * ターボ分子ポンプのアフターサービス事業の拡大、新たな供給分野の開拓

Ⅵ. 地域戦略 5/5

－その他のアジア－

| 売上高 単位：億円 | 2020.3期 目標 | 2017.3期 見込 | 増加額 | 増加率 |
|--------------|------------|------------|-----|-------|
| その他のアジア | 440 | 342 | 98 | 28.7% |

「高い経済成長・生活水準の向上を背景にした、成長分野での需要拡大の取込みを強化」

【計測機器】

- * 製薬・食品・環境・化学・自動車分野での更なる需要開拓を推進
- * 製薬分野ではLC・ネットワークシステムの持続的拡大に取り組む
- * イノベーションセンターでの大学・研究機関・ソフト会社等との共同開発加速

【医用機器】

- * 地域統括機能を強化、また域内各国での販売・サービス体制の拡充を推進
- * 循環器内科向けマーケティング機能を強化、レファレンスサイトも設立

【産業機器】

- * ターボ分子ポンプの韓国・台湾での販売・サービス網を強化、供給顧客を拡大



Ⅳ. 資本政策

- 資本効率を向上、ROEを維持・改善（10%以上）
- 研究開発などの「成長投資」を推進、これとバランスをとり、「ステークホルダーへの還元」、また「社会貢献」などを実施
- 株主への還元は、総還元性向30%を目途とし、安定した配当を実施。条件が整えば自社株買いも検討

IX. ESGの取り組み

「企業理念・強み」の視点で”持続可能な開発のための目標（SDGs）”から優先順位の高いテーマを選定し、ステークホルダー（顧客・株主/投資家・取引先・従業員・地域社会など）と共に持続的成長に取り組む

企業倫理規定
コーポレートガバナンスポリシー
社是・経営理念・事業基盤

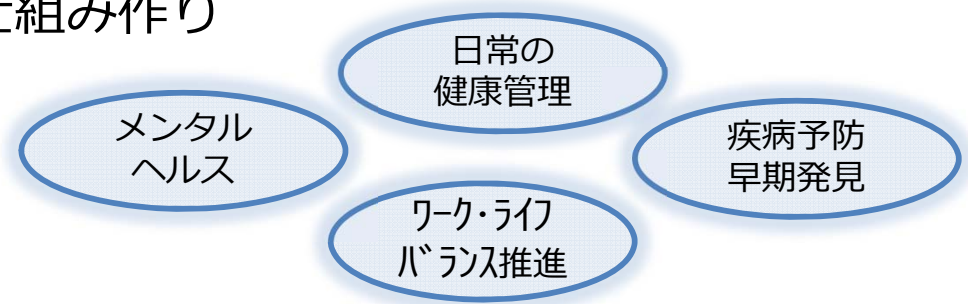


環境経営

- 『Eco Solution Provider』として環境保全と利益創出を同時実現を目指す
環境配慮型製品によるCO2排出抑制貢献量
≧ グローバルCO2排出量
グリーンイノベーション事業の拡大

働き方改革・ダイバーシティ・健康経営

- グローバル人材や女性の活躍推進
- 従業員が生き生きと働き、生産性を高められる仕組み作り



X. 企業価値向上への取り組み

JPX日経インデックス400

企業
価値

JPX日経インデックス400構成銘柄に選定

(2016.8)

→JPX日経インデックス400は、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした企業を選定する目的で、2014年から算出を開始した指数



健康経営優良法人 ホワイト500

健康
経営

健康経営優良法人 ホワイト500に認定

(2017.2)

→健康経営優良法人ホワイト500は、経済産業省が日本健康会議と共同で、優良な健康経営の施策を実施している大規模法人を認定する制度



2016年度 なでしこ銘柄

女性
活躍

2016年度の「なでしこ銘柄」に選定

(2017.3)

→経済産業省と東京証券取引所は、全上場企業約3,500社の中から、業種ごとに、女性が働き続けるための環境整備を含め、女性活躍を積極的に推進する企業を「なでしこ銘柄」として選定



ハビタット評価認証

環境
経営

ハビタット評価の最高ランクAAA評価を取得

(2015.5)

→「島津の森」が、生物多様性の保全・回復への取り組みを客観的に評価されハビタット評価認証の最高ランクであるAAA評価を取得





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。